

# 報告

## 多目的遊水地見学会&鶴見川の魚とり

2011年6月18日(土) 9:45~12:30 当日は、流域の防災・自然環境等についてふれあい、学ぶ「水マステア」が開催されました。その水マステアの1つのプログラムとして、そして鶴見川多目的遊水地の運用開始から8周年を記念して、多目的遊水地の見学会と鶴見川で魚とりを行いました。(参加者 54名 大人26名 子ども28名)



はじめにガイダンスを行った後、水マステアの開会式に参加しました。



多目的遊水地の堤防をまわりながら、遊水地の働きやこれまでの越流の状況について説明。魚とりを行う亀甲橋へ向かいます。

今歩いている場所は、「越流堤」。増水してくるとここから自然に遊水地へ水が流れ込んできます。※普段は立ち入れません。



亀甲橋に到着。川に入る前に、水辺での活動の安全の話や、網の使い方を学びます。



### 投網実演

みなさんの期待と熱い視線が注がれます！この時は惜しくもとれませんでした。魚とり終了間際にアユがとれました！



### 魚とり

待ちに待った魚とり。生きものが隠れていそうな場所を狙って奮闘！生きものがとれると「とれたー！」と大きな声があがりました。



### 生きもの観察

とれた生きものは、アユ、モクズガニ、テナガエビ、コオニヤンマなど7種類。それぞれの生態などについて解説し

普段は入ることのできない越流堤にも入り、鶴見川多目的遊水地の役割、機能を学ぶことができました。実際に越流してくる様子を思い浮かべた方もいらっしやったのではないかと思います。遊水地に8回も水が入ってきたことに驚かれる方も多くみられました。鶴見川では、アユをはじめエビやカニなど多くの生きものとふれあうことができました。これをきっかけに鶴見川流域の自然、防災に関心につながればと思います。